



鐵輪 宮崎精鋼株式会社

名古屋市中川区丸米町一丁目1番地 ☎052-361-2191 平成26年2月号

2014年 年頭挨拶

社長 宮崎 薫

皆さんあけましておめでとうございます。新年にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

一昨年、自民党が政権復帰し1年が経過しました。安倍政権が唱える“3本の矢”

第1の矢 「大胆な金融緩和」

第2の矢 「機動的な財政政策」

第3の矢 「成長戦略」

を政策の柱としてスタートし、昨年は概ね大企業を中心として、景気は緩やかではありますが、回復基調に乗り始め、また、円相場も昨今では1ドル＝105円台という大幅な円安や、株高を見ますと全体には回復した1年であったと言えると思います。

しかしながら依然、多くの課題もあります。

(1) 消費税増税（5%から8%）

かつて3%から5%へ上がった時、景気は停滞しました。今回の増税も少なくとも3～4ヶ月、一般的には半年ほど景気が停滞もしくは下降するのではないかとされており、関心事です。

(2) 自動車業界の動向

国内における景気回復に大きな影響力を持つ自動車業界も、国内の需要はほとんど伸びていません。昨年の増産は全体的なトレンドではなく、消費増税前の駆け込み購入や、中国などの影響が少なかったという国内の需要増ではなく海外の需要増、等が大きな要因であり、今後、成長鈍化の傾向が予想されているなど楽観はできないと思われれます。

この需要動向・環境変化に対し、宮崎精鋼はどうあるべきか。

①まずは身の回り・足下からだと思います。第一に、安全で明るい職場を目指すこと。事故・ケガがなく、5Sを深化させることです。

②さらに、我社の強みを生かすこと。この10年、同業他社にない設備投資を継続してやってきました。これがこれから投資効果を最大化していかなければなりません。他社に比べ、コスト・品質では優位に立っていると思うからです。

③更なる成長戦略として、国内需要の低迷に対応して需要家が海外移転していることに対し、どのように供給責任を果たすかです。タイ・中国は新日鐵住金殿と連携でやってきましたが、当社主導でやれないのかとの需要家からの声があり、それに応えていく必要があります。

最近の経済動向は、どの業種が良くてどの業種が悪いとは一律に言えません。鉄鋼の中でも、製品ごとに良い悪いが分かれています。業種の問題ではなく、我々自身がいかに頑張っているか。自助努力によって克服できるはずです。今年も計画をしっかり実践して、皆さんと共に、良い1年にしたいと思っています。

